

## 令和5年度最上広域圏児童の受入事業について

令和5年9月5日(火)～8日(金)の間、山形県最上広域圏と沖縄県中部広域圏の児童交流事業が実施されました。この事業は、両地域の児童が自然、歴史、文化、生活環境の違いを体験し、相互理解を深め、将来の人材育成に寄与することを目的としています。

1日目は、歓迎交流会が行われ最上広域圏児童と中部広域圏児童が、名刺交換や伝統芸能の披露が行われ、初めは緊張していた児童たちも打ち解け、楽しい歓迎交流会となりました。

2日目には、学校交流会及び自然体験交流会が行われ、学校交流会では、児童たちは太鼓ストラップ作り・サーターアングギー作り・三線体験などを通して交流いたしました。自然体験交流会では、海水浴やバナナボート体験、バーベキューが行われ、沖縄の美しい海を楽しんでいました。自然体験交流会後の学習会では、沖縄の歴史や文化を学び、児童からは活発に質問も出ており、非常に賑やかなものとなりました。

3・4日目には、沖縄県内の文化・観光施設を訪問・見学し、沖縄の歴史や文化、自然を直接体験し、そのうちのひとつ嘉手納町の「道の駅かでな」では展望所及び学習展示室を見学し、基地を抱える沖縄の現状を知る機会となりました。

新型コロナ感染症の影響により、4年ぶりに実施されたこの事業は、大きな事故もなく終わることができました。今回引率された教諭の中には、過去に児童として参加された方もおり、この事業が相互理解を深め、人材育成に貢献していることが再確認されました。今後も更なる事業の発展に寄与できるよう取り組んでまいります。



## 令和5年度「ゆがふう塾」市町村職員研修事業 最終報告会について

9月29日（金）読谷村文化センターにて令和5年度「ゆがふう塾」市町村職員研修事業最終報告会を実施しました。当組合の副理事長 石嶺 傳實（読谷村長）による「読谷まつり」についてご講演をいただいたのち、3グループから読谷村の課題について、研究報告と提案が行われました。

本研修塾長の官平 栄治（名桜大学 国際学部 国際観光産業学科教授）からは、「業務との両立で時間もない中、どのグループも読谷村の強み弱みを分析し、データに基づく研究発表ができた。」と総評をいただきました。

今年度の塾生17名が本事業を通して学んだ、政策立案にかかる知識と経験を活かし、今後の活躍に期待したいと思います。

今年度テーマ市町村である読谷村をはじめ、職員を派遣していただきました関係市町村、調査研究に協力していただいた各種団体、関係者の皆様におかれましては、本事業にご協力いただき誠にありがとうございました。



### 9月の監査及び検査実績件数

社会福祉法人指導監査係	教育保育指導監査係	障がい福祉指導検査係	認可外保育指導監査係
監査件数 4件	監査件数 21件	検査件数 8法人 22事業	監査件数 未定

中部広域市町村圏事務組合 TEL:098-929-1685 FAX:098-934-7470

【〒904-2162 沖縄県沖縄市海邦2丁目9番35号 中部市町村会館2階】

【構成:沖縄市/うるま市/宜野湾市/北谷町/嘉手納町/西原町/読谷村/北中城村/中城村】

